

令和7年度 校内研究について

南部町立南部中学校

1. 研究主題 「気づき・考え・表現し合える生徒の育成」
2. 研究副主題 『「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する授業づくりめざして』
3. 研究主題・副主題設定の理由

研究主題は13年前より継続し設定されている「気づき・考え・表現し合える生徒の育成」である。生徒たちがこれからの時代を生き抜くためには、答えのない問いに対して、主体的に考え、他者と協働しながら自分たちなりの答えを見つけ、実践していく必要がある。そのために必要な資質・能力が「気づき・考え・表現しあえる力」であると考え、今年度も継続してその育成を校内研究の主題とした。

この主題を達成させるため、昨年度は『学びに向かう姿勢を身につける「主体的・対話的で深い学び」をめざして』を副主題として設定した。授業の課題設定の工夫をすることで、生徒の学びに向かう姿勢を身につけさせ、学力向上や家庭学習への動機付けにつなげられるのではないかと考えたからである。研究授業や一人一実践に加え、学習ソフト「eライブラリ」を導入し、その有効性について検討した。

その結果、一人一実践が授業力向上、eライブラリの活用が家庭学習推進の手がかりになったといえることが成果として挙げられる。しかし学習課題の定義づけが甘く、曖昧になってしまったことが課題として挙げられた。また本校生徒の基礎学力の向上を目指しながら、家庭学習習慣の定着に向けても、研究を進めていきたいという意見が挙がった。

したがって、今年度は『「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する授業づくりめざして』を副主題とした。これは昨年度の研究を引き継ぎつつ、「学習内容の定着」という課題を克服するためには、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する授業づくりが必要不可欠であると考えたからである。また、今年度は初任研実習校になっていることもあるので、校内研と連携しながら授業実践などを行っていかねばと考えている。また、昨年度から活用し始めた「eライブラリ」について、今年度も活用方法を探っていき、家庭学習の定着にも目を向けていきたい。令和6年度の校内研究会の成果を土台としながら、それぞれの学年の実態を踏まえながら模索していきたい。

4. 研究の内容 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する授業づくり

①理論研究

- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する授業づくりについて指導主事を招聘し、改めて共同した認識がとれるようにする。

②研究授業

- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現をねらいとした授業を指導主事の指導を受ける中で実施。全員で参加し、授業後に校内研究会を実施する。

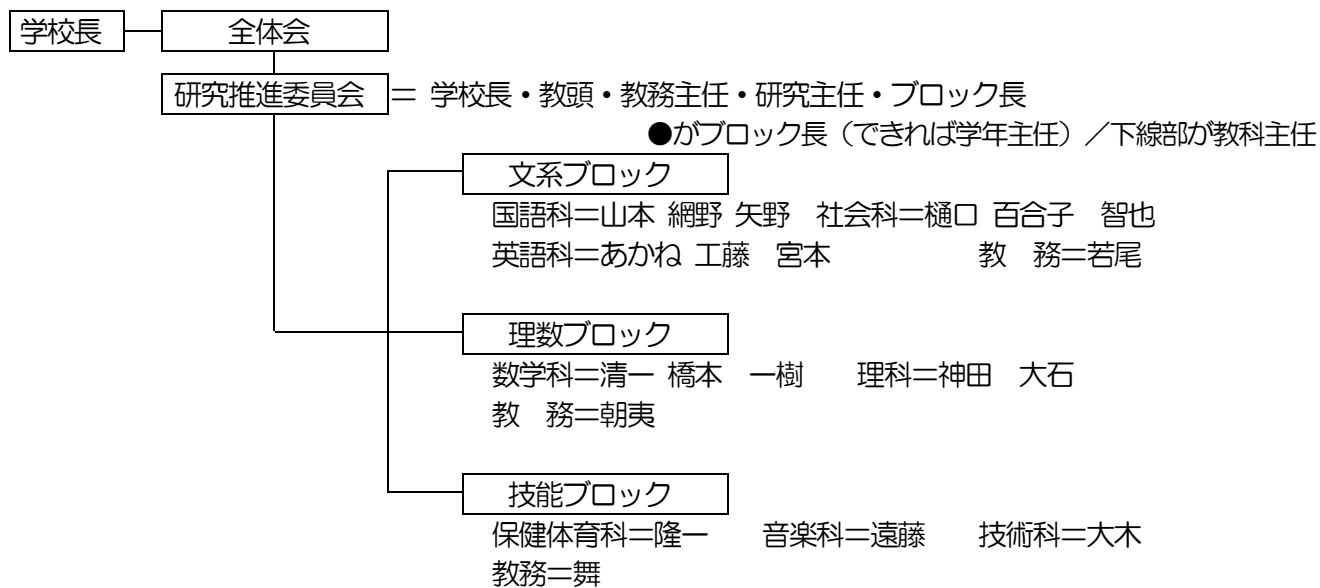
③一人一実践

- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現をめざした授業を開発・実践し、同じブロック（教科）の教員と学年職員を中心に参観しあう（指導案は略案を作成）。
- ・参観しての意見交換は「個人同士」「紙面」「ブロック・教科別研究会」「学年別研究会」で行う。

④ ICT の活用

- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現と効果的な学習支援についての意見交換を行う。

5. 研究組織



6. 年間計画

*今年度は、初任研実習校として道徳、理科、英語、もう1回何か（研究授業か講義か）を行う。

回	日時	曜	全体会内容	分散会内容
1	4月 2日	水	昨年度の課題と今年度のテーマの確認	
2	4月14日	月	今年度の研究について	ブロック・教科別研究会Ⅰ（ブロック長と授業者の確認）
3	5月30日	金	初任研①	
4	6月25日	水	指導主事招聘（理論研究）	
5	8月22日	金	教育課程還流報告 指導案検討①	ブロック・教科別研究会Ⅱ（①教育課程還流報告②指導案検討）
6	9月26日	金	初任研②【研究授業①】	
7	10月29日	水	指導案検討② 指導案検討③	ブロック別研究会Ⅲ
8	11月 7日	金	初任研③【研究授業②】	
9	12月 5日	金	初任研④【研究授業③】	
10	1月26日	月	今年度の研究のまとめ（研究紀要について）	ブロック別研究会Ⅳ
11	2月 9日	月	来年度に向けて	